



新しい器に芳醇なワインを入れよう!

香川大学医学部附属病院長 横見瀬 裕保

2019年の初頭に当たり、皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成23年度から行われている病院再開発(新築、改修)は、いよいよ平成30年度の一部を残すのみとなりました。すでに南病棟、東西病棟、手術棟は刷新され、最先端の医療、最高の療養環境を皆さんに提供しています。手術室は8室が新設(ロボット手術室、MRIナビゲーション手術室、血管造影・CTハイブリッド手術室を含む)、4室全面改修、合計12室が稼働しています。予定手術を長期間待つことなく行えるようになりました。中四国最高レベルの手術棟により最新・最良の手術提供を行っています。リハビリセンター、内視鏡診療部(3ベッドから5ベッドに増床)は全面改修され皆さんに喜んで頂いています。外来棟は改修中でご迷惑をおかけしていますが、あと少しで完成します。皆さんの心が和む外来になります。ご期待下さい。平成31年度からすべてが刷新された新生香川大学医学部附属病院が活動を始めます。

ただ新しい器ができただけでは何も変わりません。新しい器にふさわしい、芳醇なワインが必要です。ワインの熟成には時間がかかりますが、時間だけで素晴らしいワインができるはずはありません。たゆまない努力と愛情なしに香りも色も味も醸成されません。同じように、新しい病院が出来ただけでは何も変わりません。新しい香川大学医学部附属病院にふさわしいようにたゆまない努力を行います。刷新された香川大学医学部附属病院に愛情を込めて魂を入れます。

香川大学医学部附属病院の使命は

- 最新・最良の医療を安心安全に地域住民に提供する事
- 新しい治療・診断法を開発し先進医療を展開する事
- 若い新しい医療人を継続的に地域に供給する事
- 安定した運営を展開して最新医療機器を定期的、継続的に更新する事
- 医師・看護師・医療技術者・事務職員が最良の環境で仕事を行い充実感・満足感を持てるようにする事です。

スタッフ一体となって新しい香川大学医学部附属病院にふさわしい新しい医療を展開します。皆さんに選んで頂ける病院になります。



玄関前の様子



玄関ホールの様子

平成30年度 香川大学医学部附属病院関係医療機関懇談会を開催

副病院長 日下 隆

台風20号により延期となっておりますが、11月15日(木)市内ホテルにおいて、平成30年度関係医療機関懇談会を開催しました。この懇談会は地域の関係医療機関との診療連携や協力体制をより強化することおよび大学病院の現状等を報告することを目的としています。今年度は親しみやすい病院の連携を考え、新しい企画として事前アンケート調査、各科紹介のためのポスター展示など工夫を凝らし、関係医療機関からは病院長等67名、本院から54名、総勢121名の参加がありました。



冒頭に、横見瀬病院長から挨拶および大学病院の現状と将来構想等について、泌尿器・副腎・腎移植外科の杉元新教授より教育・研究・診療の概要等の紹介をしました。続いて、香川県立中央病院 太田病院長および滝宮総合病院 大越病院長よりそれぞれの医療機関の取り組み等についてご講演をいただきました。

引き続き開催された懇親会では、活発な意見・情報交換が行われ、盛会のうちに終わることができました。

糖尿病網膜症という病気を知っていますか?

今の世の中において糖尿病はごくありふれた病気で、日本では予備軍まで含めると約1000万人の患者さんがいると推計されています。それは、高齢者人口の増加、食生活の乱れや運動不足からくる肥満が増加していることが原因とみられており、耳の痛い人も多いかもしれません。

糖尿病=血糖値が高い病気です。血糖値が高いからといって、すぐに特別な自覚症状がでることはありませんが、その状態が長く続くと、血液がドロドロになり、細い血管が少しずつ損傷を受け、変形したり詰まったりします。血管は全身あらゆる所を廻っているので、さまざまな所に不具合を生じえますが、特に血流の豊富な場所が損傷されやすく、網膜もその標的となります。それを糖尿病網膜症といい、糖尿病腎症、糖尿病神経障害とともに、糖尿病の3大合併症といわれています。

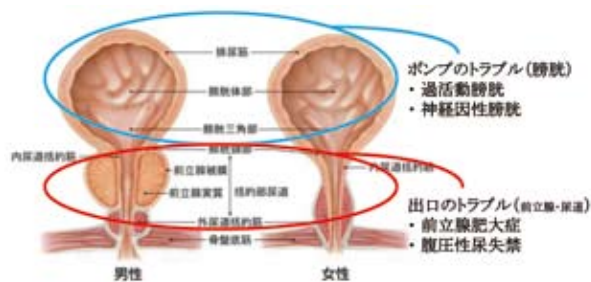
糖尿病網膜症は、失明に至ることもある恐ろしい病気で、日本でも年間3000人が失明しています。この病気の困ったところは、初期の段階では自覚症状が全くなく、自分では病気に気が付きにくいところなのです。そのため、重症になるまで眼科を受診しない人や通院を途中で自己中断する人もおられます。一度発症してしまうと元の状態に戻すことはなかなか難しいのが現状です。糖尿病の初期段階で、良好な血糖コントロールを行うことで、発症を予防することが重要となります。また、医学は発展してきており、重症化した場合でも、適切な時期に、レーザー治療や手術などの適切な治療を行うことで、失明を防ぐのみでなく、視力を回復させることが可能な例も多く見られるようになりました。

糖尿病と診断された人は、まず一度眼科を受診し、眼の状態を確認してください。自分では大丈夫と思っている、意外と重症な場合もあります。そしてその後も、定期的に眼科受診を行うようにしましょう。

※第36回イキイキサぬき健康塾(平成30年5月13日開催)の講演内容を要約したものです。

おしっこが近い、漏れる、出にくい -ズバッと解決-

泌尿器・副腎・腎移植外科 助教 宮内 康行



トラブルの原因はどこにある!?

おしっこのトラブルは、生活の質を低下させる切実な問題です。しかし、多くの方達が「歳のせいだから仕方がない」とか「恥ずかしいから」などの理由で医療機関への受診を躊躇しているのではないのでしょうか。第37回イキイキサぬき健康塾では、様々なおしっこのトラブルの原因を出口(尿道)とポンプ(膀胱)に分けて解説し、その解決策についてお話をさせていただきました。

まず出口のトラブルとして代表的な疾患が「前立腺肥大症」になります。前立腺は男性だけにある胡桃大の臓器で、膀胱の下にありその真ん中を尿道が通っています。前立腺が加齢と共に増大した結果、尿道が圧迫されて狭くなる病気が「前立腺肥大症」です。前立腺肥大症の症状は多種多様で、「尿が出にくい」、「尿が残っている」などです。治療についてはまず薬物治療から開始し、症状が改善しなかったり徐々に悪化する場合には、手術をお勧めしています。

続いてポンプのトラブルとして代表的な疾患が「過活動膀胱」です。「過活動膀胱」は膀胱が過敏になっていることで勝手に収縮し、少しの尿でも押し出そうとしてしまう状態です。典型的な症状として頻回の尿意に加え、急な尿意に襲われ我慢することが困難で、時にトイレまで我慢できずに尿がもれてしまうこともあります。中高年以上の男女共によく見られ、膀胱の加齢現象といえるかもしれません。過活動膀胱は薬物治療が奏功する場合が多く、症状を改善させることができます。

今後も、皆様のおしっこのトラブルによる憂鬱な気持ちを払拭でき、原因をみつけて治療すれば快適な生活を取り戻すことができると感じていただけるよう努めてまいります。

※第37回イキイキサぬき健康塾(平成30年6月10日開催)の講演内容を要約したものです。

**四国新聞社の記事転載について、ホームページでの公開には
許諾されていないため、転載記事を除きました。**

四国新聞 2018年(平成30年)9月23日(日)掲載 (四国新聞に掲載について許諾済み)

イキイキサメキ健康塾

香川大学医学部附属病院 医療セミナー

高松市内で定期的に行っている医療セミナー「イキイキサメキ健康塾」がケーブルメディア四国のコミュニティチャンネルで放送中です。実際にセミナーにご参加いただいた方の振り返りに、セミナー当日に参加できなかった方に、医療セミナーに興味のある方に、皆様ぜひご覧ください。

また、今までに開催された医療セミナー「イキイキサメキ健康塾」をYou Tubeでご覧になれます。

香川大学医学部附属病院You Tubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCtdoZ-wYQFrB8R1zcxE85aQ>



香川大学医学部附属病院
You Tubeチャンネル

11月17日(土)～18日(日)に平成30年度第2回緩和ケア研修会を開催しました。
この研修会は、がん診療に携わる全ての医師が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得する為に受講しなければなりません。今回は院内から14名、院外から1名、計15名の参加となりました。

どの参加者も熱心に講義を受け、グループワークやロールプレイも積極的に取り組まれて有意義な研修会となりました。

参加者全員、2日間の研修会を無事修了し、修了証書を授与されることになりました。



臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長
治験審査委員会委員長
臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記 URL に示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H31.1～H31.2月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
1/10 木	14:00～15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と医師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066
1/13 日	11:00～12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾—香川大学病院と最新医療— 「前立腺がんを正しく理解して正しく治療しよう」 「やりすぎは絶対にダメ!」	総務課	(087)891-2008
1/17 木	14:00～16:00	西1階カンファレンスルーム	がん患者サロン 「ヘア・メイクに関する話」	がん相談支援センター	(087)891-2473
1/24 木	14:00～15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と理学療法士が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066
2/7 木	14:00～15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と医師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066
2/17 日	11:00～12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾—香川大学病院と最新医療— 「～窓口は便鮮血で～早期発見、治る大腸がん」	総務課	(087)891-2008
2/21 木	14:00～15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と看護師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、大高(医療支援)、加賀宇(総務)、岸野(病棟)、日下(副病院長)、笹川(放射線)、田川(管理)、田中(看護)、富田(経営)、濱本(外来)、芳地(薬剤)、横井(情報)、吉野(医事) [委員長 横見瀬病院長]